

# 令和元年度 第7回津有区地域協議会 次 第

日時：令和元年11月14日（木）

午後6時30分～

会場：ファームセンター 農事研修室

**会議時間：90分**

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 地域アンケートについて

(2) 町内会長との意見交換会について

(3) 高齢者の交通手段について

4 その他（次回の開催日程について）

5 閉 会

## 津有地区地域アンケートの結果について

### 1 目的

津有地区の現状や課題について、住民を対象としたアンケートを実施し、住民が望んでいるものや意見を把握することで、より良いまちづくりに役立てていくもの。

### 2 実施方法

媒体：Web アンケート

配布方法：令和元年 10 月 15 日配布の広報誌「我がまち つあり」に QR コードと URL を掲載し、全戸に配布

### 3 実施結果

	11 月 6 日時点	
	アクセス数	回答数 (完全回答)
若者向け	0 件	0 件
世帯主向け	12 件	9 件 (7 件)

※詳細は、資料 2 のとおり

### 4 検証

#### ①Web アンケートの有用性について

- ・アンケート配布にかかる費用や作業労力は、紙面配布よりも削減した。
- ・PC やスマホを使える人が対象となることから、アンケートを受け取った全ての人が回答できない。
- ・紙面で渡された時よりも提出する義務感が低い。

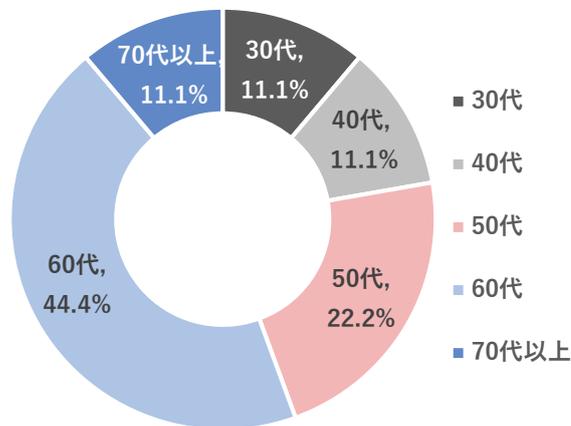
#### ②広報誌「我がまち つあり」の認知度について

- ・集計結果を見ると、50 代から 70 代の中高年からの回答はあるものの、20 代から 40 代といった若年層の回答が少ない。
- ・Web アンケートに回答可能な世代と広報誌を読む世代のギャップがあるため、アンケートの回収率が著しく低いことが考えられる。

## 津有地区地域アンケート 世帯主向け 集計結果

## ■回答者の年齢

年代	回答数
20代	0
30代	1
40代	1
50代	2
60代	4
70代以上	1



## ■地域に居住するうえでの不満

年齢	性別	意見
60代	男性	商店街等がなく、買い物もできない。
60代	男性	色々な情報を紙ベースだけではなく、SNSを活用していくことも必要だろう。各種会合や組織が何をしているか分からないし、構成員が固定しがちである。
50代	女性	積極的に参加する方が限られている。
30代	女性	昔ながらのやり方にこだわりすぎている。
60代	女性	バスの線を増やしてほしい。車がないと出かけられない。

## ■地域にしてほしいこと

年齢	性別	意見
60代	男性	活気あるまちにするためのイベント等
60代	男性	若者や女性をもっと活動できる環境を整える。 既存の組織の多様性を活かす視点から考える。
60代	女性	子ども達が地域に戻ってくるような工夫
40代	男性	自分達でまちをつくる意識の醸成
50代	男性	世代を超えた交流ができるイベントの開催

■市にしてほしいこと

年齢	性別	意見
60代	男性	地域に密接に関係することが重要
60代	男性	地域の活性化は国民的課題となっている。 地域の自発的な活動が重要視されているが、ボランティア的な考えだけでは行き詰まり、持続性も期待できない。 人的パワーへの手当て保障も考えるときではないか。
60代	女性	誰もが上越に戻って来るような、IターンやUターンができる就職先や企業を増やしてほしい。
40代	男性	好事例の紹介
50代	男性	定住を促進するための企業と人の誘致 行政を含めた防災訓練 イベントを開催するための費用負担 先見性のある交通網の充実 居住区、自然区、企業区等の区分と促進による予算の集中と選択

■地域活性イベントのアイデア

年齢	性別	意見
60代	男性	全域対象の体育祭や夏祭り
60代	男性	魅力ある文化講演会
60代	女性	懇親会
50代	男性	津有区全体で行う運動会やお祭り

## 津有地区町内会長と津有区地域協議会委員との意見交換会 実施計画（案）

### 1 目的

津有区地域協議会の自主的審議の協議結果を共有するとともに、10月に実施した地域アンケートの結果を基に、今後の津有地区のまちづくりに関する課題提起を行う。

### 2 開催日時及び会場

開催日：令和元年12月7日（土）

時 間：午後2時から午後4時まで ※終了後、懇親会あり（会費：1,000円）

会 場：津有地区公民館 大会議室（上越市平成町533番地1）

### 3 出席者

・ 津有地区町内会長協議会 32名

※太田委員、宮越委員は町内会長を兼任しているが、地域協議会委員として出席

・ 津有区地域協議会委員 14名

・ 中部まちづくりセンター職員（事務局） 3名

### 4 内容

・ 自主的審議事項の報告と意見書の提出について

・ 地域アンケートの結果と今後のまちづくり

### 5 その他

① 町内会長との懇親会の実施について

・ 意見交換会終了後（午後4時10分から2時間程度の予定）に懇親会を実施する

・ 会場…意見交換会で使用した会場（予定：津有地区公民館大会議室）

・ 懇親会の準備、手配について…主催者の津有地区地域づくり協議会が行う。

令和 年 月 日

上越市長 村山 秀幸 様

津有区地域協議会  
会長 吉崎 則夫

### 津有区内における高齢者の交通手段に関する意見書

津有区地域協議会では、津有区における高齢者の交通手段について、調査と議論を重ね、課題と今後の対応について、次のとおり意見をまとめましたので提出いたします。

#### 記

近年、高齢者による交通事故が大きく報道される中、津有区地域協議会では、平成 29 年度から高齢者の交通手段の確保について、協議を行ってまいりました。

協議を進めていく中で、高齢者サロンの利用者やゲートボールハウスの利用者から現在の交通手段に関するアンケートを実施したところ、①日常生活における移動は、自家用車の利用が最も多く、公共交通の利用は少数に留まりました。

また、津有区は 3 本のバス路線が通っていますが、②バス路線沿い以外の地域はバス停までが遠く、高齢者が利用しにくい地域であること、また、③農業者が多いため、荷物の運搬等に必要な車を手放すことは難しいという話もありました。

この結果を受け、高齢者が日常生活を支障なく送るためには、④自家用車という交通手段は一定程度容認するものの、安全を確保する面から、高齢者の運転による交通事故の防止策が必要という結論に至りました。

つきましては、下記のとおり対策案を検討いたしましたので、提案いたします。

#### 1. 自治区単位での高齢者向け交通安全講習会の開催

現在、75 歳以上の高齢者が免許を更新する場合、認知症検査の後、高齢者講習を実施しており、旧来より厳格な基準による免許の更新を行っています。

しかし、免許更新後の 3 年間は講習を受ける機会がなくなります。高齢者の身体能力や認知能力等は早いスパンで変化するため、次回の更新までに、講習で培った交通安全に対する意識は薄れ、自身の身体能力を客観的に認知する機会がないことが課題です。

(案)

そのため、高齢者が車を運転するリスクを承知したうえで、安全に自家用車を運転するため、**⑤自治区単位における定期的な高齢者向け交通安全講習会の開催**を提案します。

講習会の開催により、交通安全に対する意識の醸成や身体能力を確認する機会の創出に期待できるとともに、家族以外に相談できる場所の確保や公共交通に関する情報収集、住民が交通手段について考える場の創出も期待できます。

つきましては、現在、各公民館で実施している**⑥公民館事業における交通安全に関する取組の推進や講師の派遣支援**など、地域に即した形での交通安全講習会の開催を提案いたします。

## 2. 運転免許証自主返納に対する支援

前述のアンケート結果によると、運転免許証を自主返納した方のきっかけは、家族からの勧めや車の運転に不安を抱いたこと方が多いという結果になりました。

このことから、**⑦高齢ドライバーを抱える家族を対象とした相談窓口の設置や、運転免許証の自主返納の勧め方といった講座**も有効と考えるため、こちらも高齢者向け交通安全講習会の開催とともに提案いたします。

これらの取組によって、車の運転を控える方や運転免許証の自主返納を決意する方などの増加を期待できますが、一方で、車を運転できなくなることで、買い物や通院への移動手段の失われるため、日常生活への支障が発生します。

そのため、**⑧交通安全講習会の場を活用した受講者の需要把握に努め、高齢者の安全な移動手段の確保に向けた検討を進めていただき**、高齢者が不便なく日常生活を送るための政策につなげてください。

## 意見書提出に係る協議事項

## ■意見書の要点

## ○背景

- ①自家用車の利用が最も多く、公共交通の利用が少ない
- ②バス路線沿い以外の地域はバス停までが遠く、高齢者が利用しにくい
- ③農業者が多いため、荷物の運搬等に必要な車を手放せない

## ○結論

- ④自家用車という交通手段は一定程度容認するものの、安全を確保する面から、高齢者の運転による交通事故の防止策が必要

## ○提案内容

## ⑤自治区単位における定期的な高齢者向け交通安全講習会の開催

## ★協議ポイント

- ▣ 開催範囲は自治区単位とするか（小学校区単位、中学校区単位など）
- ▣ 開催頻度をより具体的とするか。（月〇回など）

## ⑥公民館事業における交通安全に関する取組の推進や講師の派遣支援

## ★協議ポイント

- ▣ 公民館事業と事業を特定するか。
- ▣ 他に考えられる支援内容はあるか。

## ⑦高齢ドライバーを抱える家族を対象とした相談窓口の設置や、運転免許証の自主返納の勧め方といった講座

## ★協議ポイント

- ▣ 他に考えられる支援策はあるか。

## ⑧交通安全講習会の場を活用した受講者の需要把握に努め、高齢者の安全な移動手段の確保に向けた検討

## ★協議ポイント

- ▣ 上記内容を提案するか。